

新型コロナウイルス感染症に対する市の対応について

保健衛生課

1. 緊急事態宣言後の感染状況 (1/14~1/21)

	1/14	1/15	1/16	1/17	1/18	1/19	1/20	1/21	過去累計
市内	4	3	0	1	0	2	2	2	147
福岡県	341	361	411	300	204	200	277	285	14,385
全国	6,578	6,741	6,987	5,751	4,917	5,300	5,532	-	343,106

※1月21日時点 (全国(空港検疫を除く国内事例)は20日時点)

2. 感染防止対策

(1) 緊急事態宣言 1月7日(木) (13日に一部地域が追加)

(緊急事態措置を実施すべき期間)

東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県 1/8~2/7

栃木県、愛知県、岐阜県、京都府、大阪府、兵庫県、福岡県 1/14~2/7

(2) 緊急事態措置等

[福岡県の措置等]

期間：1月14日から2月7日まで

① 県民への要請等

○不要不急の外出・移動の自粛 (特に、20時以降の外出徹底)

生活や健康の維持に必要な場合を除く

○基本的な感染防止対策の徹底

身体的距離の確保、マスク着用、手洗い、三密の回避 など

② 事業者への要請等

○飲食店に対する時短営業及び感染防止対策の徹底 (※1月16日から)

営業時間を20時まで、酒類の提供を19時まで

○上記以外の施設等への時短営業の働きかけ

劇場、映画館、図書館など人が多く集まる施設を対象

営業時間を20時まで

③ その他

○在宅勤務など接触機会の低減

○催物 (イベント等) の開催制限 など

[大牟田市の取組み]

期間：1月14日から緊急事態宣言が出されている間

① 公共施設の取扱い (※1月18日から)

○原則として開館時間を20時までとする。

②市主催のイベント・行事・事業等

ア) 広域的な人の移動が見込まれるものや参加者の把握が困難なもの
中止を含め慎重に判断

イ) 広域的な人の移動が見込まれないものや参加者が把握できるもの
十分な感染防止対策を講じる

参加人数に限度を設定…屋内施設は収容定員の50%まで、屋外は身体的距離を十分に確保(できるだけ2m以上)。屋内・屋外のいずれも上限5000人。

3. 今後のワクチン接種について

(1) 接種対象者 市民 約11万2千人(うち、高齢者4万1千人)

(2) ワクチン接種の時期・流れ等

(接種の時期)

2月下旬～ 医療従事者等

3月下旬～ 高齢者

これ以降、基礎疾患を有する方やその他の市民へ

(接種の流れ)

①市は、接種券(クーポン)を作成し、市民へ郵送。

②市民は、接種予約を行ったうえで、医療機関等でワクチンを接種。

※医療従事者等に対しては、県において一般市民とは別の流れ・体制で実施される。

(費用負担)

市民負担なし(公費負担)

(3) 接種体制

市内の医療機関で個別接種を行う方向で大牟田医師会と協議中。ワクチンが届き次第速やかに接種開始できるよう体制を構築する。

〈協議事項〉

○ワクチンの保存、移送

ワクチンの特性(-75℃の超低温保管)

超低温冷凍庫…国が複数回に分けて配備予定(大牟田市:7台)

○接種できる医療機関等の確保

医師会を通じ協力依頼

(参考:ファイザー社製ワクチンの移送方法)



(4) 予算の確保 261,013 千円 (1月22日補正予算を専決処分)

① ワクチン接種体制の確保 127,360 千円

接種券、予診票の作成・送付、予約システムの構築・運用 など

② ワクチン接種委託費 123,653 千円

医療従事者(2回分)、高齢者(1回分)

※高齢者残り1回のほか市民接種分は、令和3年度当初予算に計上予定。

③ 集団接種にかかる経費 10,000 千円

医師・看護師の出務料、接種資材、会場代

(5) 市民周知

接種対象者に個別に通知するほか、広報おおむたや市ホームページ、SNS などにより案内する。